電池式デジタル圧力計　ＤＰＭ取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き有り難うございます。
ご用命頂いた型番であることをご確認の上、この説明書をよくご覧になって正しくご使用下さい。誤った使い方をすると、火災や故障の原因となります。ご不明な点がございましたら、弊社営業部又はご購入販売店までお問い合わせ下さい。
この取扱説明書は大切に保管して下さい。又、商品は日々改良されておりますので、必ず現品に付属された取扱説明書で操作を行って下さい。

目　次

Ⅰ．型　番
Ⅱ．仕　様
Ⅲ．外観と外形寸法及び各部の名称
Ⅳ．操作方法
Ⅴ．電池の交換方法
Ⅵ．取扱いご注意と保守点検

Ⅰ 型 番

ＤＰＭ－ＡＳ－□－０－Ｒ２－３
①　②　③　④　⑤　⑥

① DPM 基本形名
② AS　センサ接続形状　センサ下付直結（ツバなし）
③ □　圧力スパン　200K：－0.1～0.1MPa、1M：0～1MPa、5M：0～5MPa、10M：0～10MPa、50M：0～50MPa
④ 0　出力なし
⑤ R2　取付ねじ R1/4
⑥ 3　電源 3V リチウム電池 CR123A タイプ

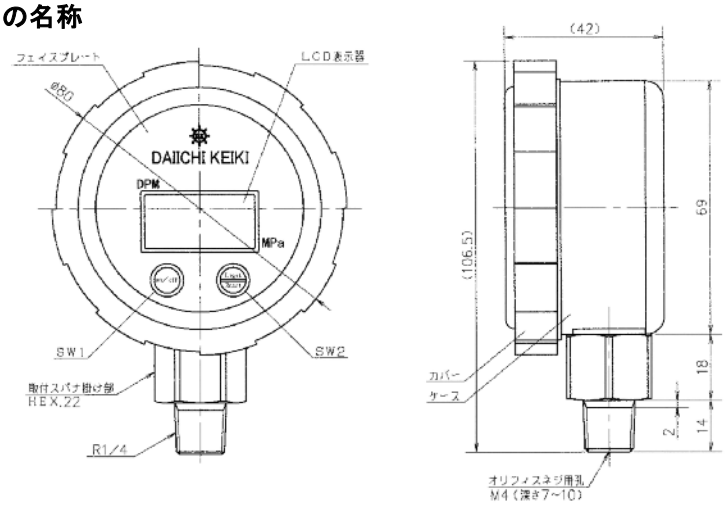
Ⅱ 仕 様

1.定格目盛

圧力スパン	目 盛 範 囲	分 解 能
－0.1　～　0.1 MPa	－.100　～　0.100 MPa	0.001 MPa
0　～　1 MPa	0.000　～　1.000 MPa	0.001 MPa
0　～　5 MPa	0.000　～　5.000 MPa	0.001 MPa
0　～　10 MPa	0.00　～　10.00 MPa	0.01 MPa
0　～　50 MPa	0.00　～　50.00 MPa	0.01 MPa

2. 電池寿命　　ﾊﾞｯｸﾗｲﾄを点灯させず、ﾋﾟｰｸﾎｰﾙﾄﾞ機能とｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌ機能を働かさず、表示変換速度 1s で連続使用すれば約 2 年。
3. 入力受圧媒体　　SUS304L、SUS316L を侵さない液体・気体
4. 外形寸法　　指示計部　φ80×奥行 43±1mm（外形図参照）
5. 取付方式　　R1/4 ねじにて導圧管に取付
6. 材　　質　　受圧部 SUS316L、ケース ABS 樹脂、フロントパネル PET
7. 保護等級　　IP65 相当
8. 表示器　　4 桁 LCD 表示、文字高さ 12mm
9. 精　　度　　±1%F.S.±1digit
10. 表示変換速度　　0.1、0.3、0.5、1 秒に設定可能
11. 許容過負荷　　150%F.S.
12. ｾﾞﾛ点、ｽﾊﾟﾝの温度影響　　±0.05%F.S.／℃
13. 温度補償範囲　　-10～60℃（受圧媒体温度）
14. 動作温度範囲　　-10～60℃（受圧媒体温度）
15. 標準機能　　ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ、ｵｰﾄｾﾞﾛ（RESET）、ｵｰﾊﾞﾌﾟﾚｯｼｬ表示、ﾋﾟｰｸﾎｰﾙﾄﾞ、表示変換速度切換 ｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌ、ﾛｰﾊﾞｯﾃﾘ表示
16. 使用周囲温湿度　　-10～60℃、35～85%RH（氷結結露不可）
17. 質　　量　　約 220g

Ⅲ 外観と外形寸法及び各部の名称



Ⅳ 操作方法

1. キー機能

ＳＷ１

電源 ON／OFF

ｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌ

ＳＷ２

Light ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ点灯

Reset ｵｰﾄｾﾞﾛ機能

2. 操作

1) SW1 を押すと電源が ON になる。SW1 を 3 秒以上押すと電源が OFF になる。
2) SW1 を押し電源を ON にして、SW2 を押すとﾊﾞｯｸﾗｲﾄが点灯する。5 秒後に消える。
3) ｵｰﾄｾﾞﾛ調整（RESET）、加圧せず大気圧で行うこと。SW1 を押し電源を ON にする。
SW2 を 3 秒間押し続けると表示が 8.8.8°.8 を 1 秒間点灯し、その後表示器は 0.000 又は 0.00 を表示する。
4) ｵｰﾊﾞﾌﾟﾚｯｼｬ表示、定格目盛 FS の 1.2 倍迄表示器はﾌﾗｯｼﾝｸﾞ表示する。これを越えると oL と表示する。
5) ﾋﾟｰｸ値ﾎｰﾙﾄﾞ SW1 を押して電源を ON にする。SW1 と SW2 を同時に 3 秒間押すと PH と表示する。その 1 秒後に表示器右上に▶がﾌﾗｯｼﾝｸﾞする。そしてﾋﾟｰｸ値を表示する。この時ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ周期は自動的に 0.1 秒になる。SW2 を 3 秒間押すとﾋﾟｰｸ値はｸﾘｱされる。SW1 と SW2 を同時に３秒間押すと、表示器に St を表示し、この機能は解除され、通常測定になる。
6) 表示変換速度（ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾚｰﾄ）切換　電源 OFF 状態で、SW1 を押し続けると dtx.x を表示し、x.x がﾌﾗｯｼﾝｸﾞする。SW2 を押す毎に、0.1→0.3→0.5→1.0 秒をﾌﾗｯｼﾝｸﾞ表示する。初期設定は 1.0 秒
7) ｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌ　6）の状態から SW1 を押すと、Ptxx を表示し、xx はﾌﾗｯｼﾝｸﾞする。
SW2 を押す毎に、00→01→02→・・・→10 分と電源が切れる迄の時間を 1 分毎に設定出来る。
初期設定は 10 分。00 に設定すればｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌ機能が効かず、連続通電する。更に SW1 を押せば、通常測定になる。

Ⅴ 電池の交換方法

電池電圧が低くなると、表示器下 3 桁に Lob を 3 秒間点灯し、自動的に電源が OFF になる。又 SW1 を押しても表示器が点灯しない場合もある。これらの状態になったら次の様に電池を交換して下さい。

1. 前面ｶﾊﾞｰを左に廻して外して、前面ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄを外して下さい。
2. LCD 表示器取付部の電池 CR123A を外して下さい。
3. 新しい電池 CR123A を極性に注意してはめ込んで下さい。
4. 前面ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄを置いて、前面ｶﾊﾞｰを右に廻して止まる迄ねじ込んで下さい。この時ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄLCD 表示器窓枠と LCD 表示器が平行垂直になるよう、ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ部に指を添えてｶﾊﾞｰを締めて下さい。

Ⅵ 取扱いご注意と保守点検

1. 取付、取外し時は、取付ｽﾊﾟﾅ掛け部にｽﾊﾟﾅを掛けて 18N・m 以下で行って下さい。表示を正面に向けようとする等、ｹｰｽ本体に無理な力を加えますと、故障の原因になります。
2. 本器の取付ｽﾊﾟﾅ掛け部を握ったり、直射日光が当たりますと、局部的な温度変化の影響で、表示値がﾄﾞﾘﾌﾄする場合があります。
3. 年 1 回の定期点検をお奨め致します。校正の必要がある場合は、弊社でご返却下さい。有償で校正証明書を発行致します。
4. 新しい電池に交換しても何も表示しない場合や、異常な表示をする場合は、故障していると思われます。
購入先を通して弊社へ返送下されば、校正修理可能かどうかをお返事致し致します。

株式会社第一計器製作所　E-mail：feedback@daiichikeiki.co.jp
本社・工場 〒660－0823　兵庫県尼崎市大物町 1－7－2　TEL.06（6481）5551　FAX.06（6401）4646
東京営業所 〒140－0013　東京都品川区南大井 6－7－9　TEL.03（3768）6761　FAX.03（3768）6663